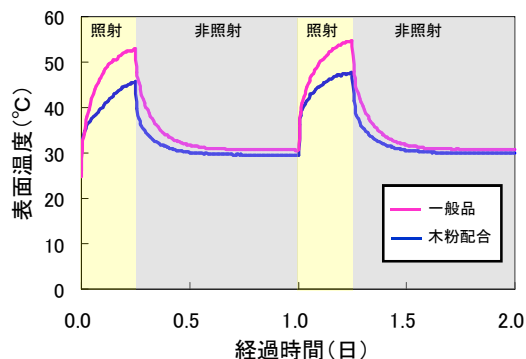
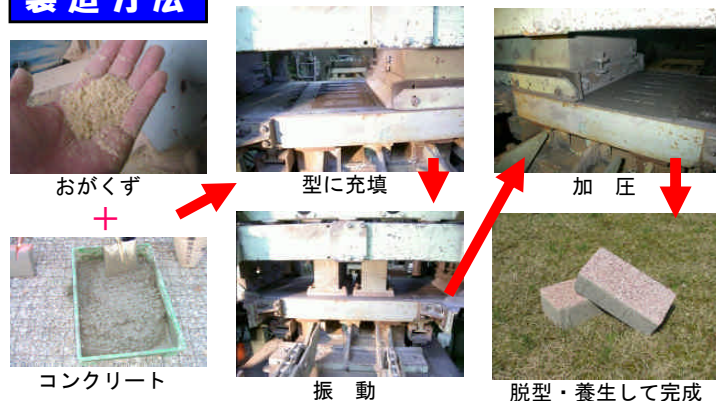


木質バイオマスを用いた多様な再生利用製品の開発

木粉(おがくず)を配合した舗装用ブロック

舗装用ブロック；都市部を中心に、公園や歩道に広く用いられており、近年は路面温度上昇の緩和効果のある、保水性のあるものが求められています。

製造方法



今回開発した舗装用ブロックの特長

- 木質の持つ保水性、吸水性をブロックに付与
→1m²あたり20Lの吸水
- ◎光照射試験の結果；最大6.7℃の温度上昇緩和効果
→舗装面の温度上昇抑制 → **ヒートアイランド対策**

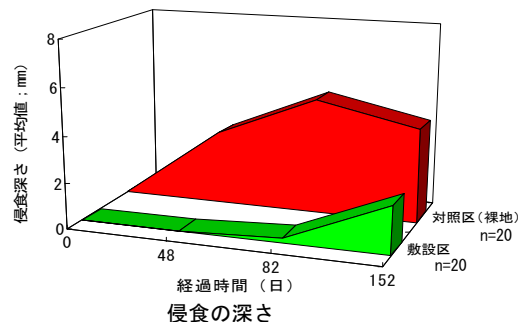


試験施工(南あわじ市・大型電機店)

樹皮を原料とした新タイプの緑化資材

山腹緑化などで用いられる植生の筋工；主に外来種が用いられています。しかし、環境に配慮して地域産種の活用が望まれています。そこで、スギ樹皮をブロック状にして張り付け、地域産種で植生を回復させます。

製造方法



今回開発した緑化資材の特長

- 柔軟、軽量、保水性・通気性に富む
- ◎侵食を抑制し、地域の植生も自然に侵入する
→ 生物多様性も保全 → **環境配慮型資材**



敷設状況(周囲で採取した植物を植栽)

【研究成果】木質バイオマス(廃棄物系)の利活用を推進するため、

- ①木粉(おがくず)を配合した舗装用ブロック
- ②樹皮を原料とした新タイプの緑化資材(法面保護マット)を製品化しました。

【成果の活用】①については、南あわじ市の大型電機店舗の歩道で試験的施工し、②についても六甲山の治山現場等で筋工として試験施工し現在追跡調査を行っています。①②共に今後の利用拡大を図るため普及活動を展開しています。